

【付録】時慶記の統計分析—人名索引をエクセルに入力してみた

『時慶記』の各巻巻末には人名索引がある。そこで、エクセルのA列に各巻の頁番号をすべて入力し、人名索引に頁番号の表示があれば、その右側のB列に「1」を入力、表示がなければB列に「0」を入力、というルールを設け、第1巻～第6巻の総頁数つまり1822次元の0または1を成分とする、約50人分の「人名索引ベクトル」を入力した。

【表1】は、50人のうち、これまでの論考の対象とした9人の出現頁数（1の個数）の年代別集計。【表2】は【表1】の9人の年代別出現頁数の相関係数。

【表3】は、2つの人名索引ベクトルの内積（ $1 \times 1 = 1$ となる頁数の合計）、つまり二人の人物の記事が同じ頁に出現する、その頁数を年代ごとに集計したもの。ここでは慶長10年の同一頁出現数を示す。

【表1：9人の歴年限出現頁数】※頁数は各-0.5で調整した。太枠は列方向の最大値

	日数	頁数	日/頁	時慶室	老母	曲庵	孝蔵主	北政所	長野殿	客人	田舎殿	多阿		
巻1	天正15年	1587	306	79.5	3.85	0	68	52	3	3	0	0	5	0
	天正19年	1591	260	67.5	3.85	31	64	30	27	5	0	0	2	0
	文禄2年	1593	384	120.5	3.19	57	73	68	30	11	0	2	0	0
巻2	慶長5年	1600	354	147.5	2.4	80	1	0	72	28	1	0	0	2
	慶長7年	1602	354	154.5	2.29	80	2	11	43	14	76	2	5	16
巻3	慶長8年	1603	354	135.5	2.61	74	0	0	36	14	70	7	2	23
	慶長9年	1604	384	151.5	2.53	89	0	0	48	30	81	21	4	20
巻4	慶長10年	1605	354	139.5	2.54	89	1	5	37	32	75	18	3	32
	慶長14年	1609	354	167.5	2.11	85	0	0	96	42	67	12	1	40
巻5	慶長15年	1610	384	181.5	2.12	124	0	0	75	38	73	7	0	32
	慶長18年	1613	354	164.5	2.15	73	2	0	36	27	23	9	0	26
巻6	慶長19年	1614	354	151.5	2.34	66	3	0	26	27	41	4	3	33
	元和4年	1618	384	154.5	2.49	74	1	0	18	27	7	3	0	8
総計	4580	1815.5	2.52	922	215	166	547	298	514	85	25	232		

【表2：9人の歴年限出現頁相関】※太枠は列方向の最大値（対角成分をのぞく）

歴年限相関	時慶室	老母	曲庵	孝蔵主	北政所	長野殿	客人	田舎殿	多阿
時慶室	1	-0.788	-0.690	0.693	0.815	0.673	0.515	-0.371	0.645
老母	-0.788	1	0.950	-0.505	-0.766	-0.653	-0.494	0.111	-0.701
曲庵	-0.690	0.950	1	-0.477	-0.723	-0.560	-0.445	0.134	-0.661
孝蔵主	0.693	-0.505	-0.477	1	0.725	0.453	0.312	-0.371	0.501
北政所	0.815	-0.766	-0.723	0.725	1	0.509	0.599	-0.389	0.752
長野殿	0.673	-0.653	-0.560	0.453	0.509	1	0.709	0.334	0.773
客人	0.515	-0.494	-0.445	0.312	0.599	0.709	1	0.141	0.641
田舎殿	-0.371	0.111	0.134	-0.371	-0.389	0.334	0.141	1	-0.015
多阿	0.645	-0.701	-0.661	0.501	0.752	0.773	0.641	-0.015	1

【表3：慶長10年の同一頁出現数】※対角成分は単純出現数。太枠は列方向の最大値

慶長10年	時慶室	老母	曲庵	孝蔵主	北政所	長野殿	客人	田舎殿	多阿
時慶室	89	0	2	27	25	50	13	3	23
老母	0	1	0	1	0	1	0	0	1
曲庵	2	0	5	0	0	2	0	0	0
孝蔵主	27	1	0	37	18	21	5	0	8
北政所	25	0	0	18	32	19	4	0	8
長野殿	50	1	2	21	19	75	11	2	23
客人	13	0	0	5	4	11	18	0	6
田舎殿	3	0	0	0	0	2	0	3	1
多阿	23	1	0	8	8	23	6	1	32

人名索引に依拠したため、今回の統計分析に用いたデータは「年」かつ「頁」という粗い単位（メッシュ）で取得した。今後、フルテキスト・データを入力すれば、「日」単位はもちろん、「人物間の字数距離」や「字間距離」を単位とした分析が可能となる。

人名にあふれた『時慶記』がAIの俎上にあがるのも、そう遠い日のことではない。